

「長期集中投資への期待」日本経済が相対的に低成長を続けると思われる中、TOPIX（東証株価指数）などをベンチマークとする運用成果はなかなか期待できません。一方で、アジアを中心に世界の成長を取り込める高い収益を上げる企業も台頭し、一握りの企業はグローバルでみても勝ち組になりつつあります。コモンズでは2009年1月の設定時から小松製作所に投資をしていますが、世界1位のキャタピラーに対し15年ほど前はROEで30%もの開きがありましたが、ここ数年は射程圏に近づき営業利益率では遂に逆転するようになりました。この背景は、海外売上高比率が80%を超える（新興国だけでも50%超）状況などが考えられます。かのピーター・バーンスタインは、投資における長期的なリターンを獲得する為には、一年程度の株価のリターンはノイズでしかない。肝心なことは、短期的な株価の上下に惑わされず、当初、投資すると決めた理由に変化が生じているのかどうかを丁寧に検証していくことだと主張しています。まさに我が意を得たり。 代表取締役社長 伊井哲朗

6 月 末 の 状 況 （資産の内訳については、マザーファンドの状況を記載しております）

設定来の 運用実績



基準価額		純資産総額				
12,800 円		12 億 1,216 万円				
分配実績	第 1 期	第 2 期	第 3 期			
	120 円	130 円	—			
資産の内訳		割合				
株式 (31 銘柄)		95.6%				
うち日本株式		100.0%				
うち海外株式		0.0%				
現金等		4.4%				
2011 年 6 月末お客様の状況						
顧客数		2,254 人 (18 人増)				
うち積立 (6 月 20 日)		1,651 人 (4 人増)				
投資パフォーマンス	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
コモンズ 30 ファンド (税引前分配金込み)	1.15%	-0.83%	-2.15%	6.08%	—	30.30%

今月の 5 銘柄について

コモンズ30ファンドでは投資先のことを、より理解していただくため、毎月投資先銘柄の中から任意に5銘柄を紹介させていただきます。今月の5銘柄とコモンズが考える銘柄選択の視点は以下のとおりです。

銘柄	選択の視点
ユニ・チャーム (8113)	世界企業と切磋琢磨し、空白地帯で成長 これまで培ってきたマーケティング力を生かし、新興国ではトイレタリーで、先進国ではペットケアでの成長を目指しています。経営の仕組み化や、他社から学び継続的改善をおこなっていることは、強みの一つです。
SMC (6273)	呼ばなくても来るサポート体制で、じりじりシェア拡大 工場の自動化に不可欠な空気圧機器で世界シェアトップ。フェスト(独)との世界2強で、新興国メーカーを寄せ付けません。自動車、電機、機械向けから、医療および食品関連でも成長。
信越化学 (4063)	戦略的なポジショニングに優れ、素材メーカー随一の収益性 収益に対する執着心が強く、強いポジションを築いています。塩化ビニルなどの汎用品と、半導体ウエアなどの先端テクノロジー、双方で高いシェアを獲得しています。
日東電工 (6988)	柔軟に変化し、持続成長。グローバルエリアニッチトップ 成長が期待される環境や医療向けなどに事業領域を柔軟に変化させながら、固有の技術をベースにシートやフィルムに付加価値を加えた製品で成長しています。それぞれの地域ごとに、品質や価格を調整し、シェアトップを獲得することを目指します。
第一三共 (4568)	勇断により、ハイブリッドモデルを実現 開発に強みを持つ、三共と第一製薬の統合により誕生。インド最大のジェネリック製薬企業ランバクシーを買収。新薬、ジェネリック、ワクチン、大衆薬の4事業を組み合わせた新事業モデルで、先進国と新興国で成長を目指します。

コモンズ30ファンドのリスクおよび手数料などについて

リスク	当ファンドは、実質的に国内外の株式を投資対象としますので、組入れ株式の値動きにより基準価額は変動します。また、外貨建資産に投資した場合、為替レートの変動により基準価額が下落し、損失を被ることがあります。これらにより生じた利益および損失は、すべて当ファンドの投資家であるお客さまに帰属することになります。また、元本および利息の保証は無く、預金保険の対象でもありません。したがって、お客さまが投資された元本は、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
購入時手数料	ありません。
換金手数料	ありません。
信託報酬	ファンドの純資産総額に年1.2075%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、運用実績における基準価額は、信託報酬控除後のものです。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として、純資産総額の0.105%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。
設定日等	当ファンドの設定日は2009年1月19日、決算日は毎年1月18日です。

* リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

セミナー・オープンオフィス情報

コモンズ投信では、「対話」というキーワードを大切にしています。コモンズ30ファンドを支えてくださる皆さま、一緒に成長して行こうとする皆さまとともに考えるセミナーを、随時開催してまいります。加えて、お客さまが気軽にオフィスにお越しいただけるよう、オープンオフィスの機会もございます。お気軽に遊びにいらしていただき、ご要望やご不明な点は何なりとおっしゃっていただければ幸いです。

スモールセミナー「はじめてのコモンズ」	
日時	7月7日（木） 19時～21時 7月15日（金） 14時～16時 7月20日（水） 19時～21時 7月28日（木） 14時～16時 @弊社ワイル 定員15名 無料
オープンオフィス「ファンドマネジャーと語ろう！運用報告編」	
日時	7月6日（水） 18時～20時 7月11日（月） 18時～20時 @弊社ワイル 定員10名 無料

☆7月の草食投資隊は、6日北海道富良野市、7日旭川市、8日網走郡美幌町です。また、19日は草快塾のセミナーもあります。

☆11日、「渋澤健と懇談会 in 北九州」を開催します。お近くの方はこの機会に是非ご参加ください。

* 各開催内容の詳細およびお申し込みは、弊社コールセンターまたは、弊社ホームページ

<http://www.common30.jp/s2.html> をご確認ください。

お問い合わせ先

コールセンター

☎ 電話 : 03-3221-8730（平日9時～17時）

✉ メール : commons-call@commons30.jp

◆本資料は、コモンズ投信が投資家の皆さまに情報提供を行なう目的で作成したものであり、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。◆このレポートは、信頼性が高いと判断された情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。記載された意見・見通し等は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。◆投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認のうえ、ご自身の判断でお申し込みください。